

東朋会ミニ通信

発行者 香川 修司
 連絡先 事務局 島津 晃
 0467-73-0515
 三井所 信夫・小倉 進
 編集者 島津 晃・白尾 幸子

第103回

東朋会理事会 報告

7月11日(水)

【議事】

(1) 新年度事業計画

① 評議員会議案書案
 討議時程と担当者
 規約・規定委員会

(2) 規程・規定委員会

① 今年度最終報告
 ② 評議員会議案検討

(3) クラブハウス検討委員会

① 今年度最終報告
 ② 評議員会議案検討

(4) 新年度予算立案委員拡大

新年度 資金運用方針
 第10回記念総会・懇親

(5) 会と創立10周年記念

行事と予算

(6) 総会10月10日(水)

① 懇親レセプション
 ② バスツアー(来春予定)

(7) ハトバスによる東京ツアー

も検討に加える
 ④ 記念品(健康テーマ)

(8) ミニ通信7月号発行計画

とホームページの状況
 ① ホームページの更新は

1回/月は実施する

(8) 東朋会

短期・中期日程案の確認

【報告事項】

(1) 2018年度6月度会計
 報告

(2) 2018年度6月度資金
 運用計画

(3) 新評議員 新人研修

① 菊池評議員・杉田評議員
 6月22日

② 高木評議員・工藤評議
 員・林会計理事 5月30

(4) 事務員採用の件

各地域OB会
 ① 京浜OB会

(5) 「バイクルーズ・山下公園散
 策」

6/7(木) 17名参加
 ② 湘南OB会

「春の健康講座」
 6/9(土) 43名参加

③ 電波OB・現役交流会」
 6/2(土) 35名参加

「トーホーライフ」

① 慶弔見舞金制度
 18年5月〜7月対象者

確認。
 ② 全労災マイカー共済募
 集の件

菅原 弘子氏(77)(6/21没)
 窪田 廣司氏(74)(6/9没)

訃報

菅原 弘子氏(77)(6/21没)
 窪田 廣司氏(74)(6/9没)

【事務局から】連絡①8月1日〜新しい年度の始まりです。同封しました郵便振替払込用紙にて年会費の納入をお願いします。②8月11日(土)〜19日(日)クラブハウスは休館となりますのでご承知置きください。③昨年皆様にご協力頂きました『2017年生活実態調査』を集計し別紙同封致しました。また、ホームページにも載せてあります。ご参照下さい。

季節雑感 10年目を迎えた東朋会の事業

理事長 香川 修司

「命に危険をもたらすような暑さ」気象庁が連日警告する猛暑が続いています。神奈川県は空梅雨に近いのですが、西日本で大雨が降り、災害が中国・四国に集中しています。年々、気象の変化が激しくなるのを感じています。大阪北部地震や霧島火山群の火山活動の活発化もあります、自然の力を自覚し、災害に備え、自然との共生を心がけたいものです。

総務省の人口動態調査によれば、日本の人口が前年より37万4056人減り、9年連続で減少幅は調査以来最大となったのです。昨年生まれた子は94万8396人で2年連続100万人に届かず、逆に亡くなった人は最多の134万7444人で11年連続で自然減となった事です。縮む日本社会の中で、雇用や社会保障をはじめ多くの課題が浮上してきました。

トランプリスクはいろいろありますが、最も懸念されるものに保護貿易政策があります。対中国やEUが話題になっていますが、時代はグローバル化が進んでいますから、自国第一主義の影響は世界に及んでいます。

自然現象・社会状況・世界状況、いずれをとっても日本にとって経験のない状況と言われますが、世界的には多くの経験があり、教訓があります。テレビの画面に映しだされた倉敷真備の水没地に過去の教訓が刻まれた石碑だけが残っている風景だけは避けなければなりません。

東朋会は法人として設立10年目を迎えます。記念事業として、「記念レセプション」や「はとバス日帰り家族ツアー」、記念品として「健康カレンダー」の配布を企画しています。今後もシニア生活充実財団として仲間の知恵と力を結集して事業に取り組んでいきます。

大輪の輪が 夜空を彩る サザンビーチ「水中孔雀」



【会員情報】(5月末)

会員 426名

敬称略

卒寿 おめでとういさいます
 小林 正夫(7/27)

傘寿 おめでとういさいます
 齋藤 雅子(7/8)

関西へ

米山 幸子

慌ただしかった日々からようやく日常に戻ってきた頃、遠方の友から思いがけない誘いが舞い込んできました。

この機会に京都に立ち寄る欲張った計画を立てました。早朝の新幹線で京都へ。

目的の地は洛北の鞍馬と木船。叡山電車の車窓から「青もみじ」を楽しみ終点の鞍馬駅で下車。仁王門(山門)をくぐり、ケーブルで多宝塔へ、参道を本殿金堂に向かい参拝。

比叡の山並みを望み、奥の院目指して参道を「背比べ石」までゆっくりと、ここからは下り道。足下を確認しながら進み、奥の院「魔王殿」参拝して、さらに下って西門へ、目の前の橋を渡ると貴船神社に着いた。



貴船神社

翌日は南下して、酒蔵と水辺の港町伏見へ。水辺を巡る十石船から街並みを楽しみ、酒蔵の見学と歴史の舞台「寺田屋」へ。

次は宇治へ、雑多な言葉の中を歩み平等院へ着いた。

観光を済ませた翌日、本来の目的の地である友のもとを訪れた。

前回と同様に二人並んで出迎えてくれました。

5年振りの訪問です。顔を合わせるのは数年に一度、もっぱら年賀状と暑中見舞いが細く長く続いていて半世紀を超えました。

夕食後は、近況報告に始まりこれも何時ものように深夜までの語り。

話題は夫婦の行く末、自宅のリホーム、親の介護と、年齢とともに変わってきた。

素直な意見交換の場が少なく来て今、貴重な時間でした。中でも一番の関心は、最後の生活と資金、残された時間の過ごし方でした。

八十年人生

内山 富男

昭和13年川崎で生まれ、昭和18年父は戦地へ出兵。

昭和20年、五月の夕暮れ空襲警報が鳴り響き、空は、炎と煙が漂い、避難で「母・弟妹」共に軒下の防空壕から飛出し、ヒュウヒュウと落下する焼夷弾(可燃爆弾)を

避けながら避難先のロータリー(現、幸署)へ着いたが、押し寄せる群衆に米空軍は、照明弾(光)を投下して機関銃で乱射「バタバタ」人が倒れ自転車・リヤカー・大八車を引いた死者など、振り向く暇なく、母の実家(矢向)へ第二国道を歩き出した時、母の弟妹とバツタリ、思わず涙の対面でした。

1週間ほど母の実家で過ごし、千葉県豊田村(父実家)へ疎開、鶏舎で1年半過ごしたが、食糧難は、ここでも変わらず、野草や川魚など家族一丸で物色しました。

昭和21年、父が復員し千葉県から川崎に戻り戦時災害者住宅を転々とした。父が他界、昭和40年妻と結婚、「母・妹3人」を残して別居することになりました。



平和の塔

結婚3年後、戦前戦後の苦難を乗り越え念願の分譲マンションを購入「母・妹3人」同居し、次々妹を嫁がせてきました。

妻は、気さくな性格で友達や親戚等、共に観光巡りを続けてきましたが7年前、長寿願望の妻は、臍臓がんで他

界してしまいました。私は、単身生活になり元気な内に終活の準備をして残りの人生を楽しみます。

健康・医療・介護の話

山崎 理事

今回は睡眠について取り上げました。連日35℃を超える寝苦しい日が続いています。車の運転中に一瞬眠気が襲いはつとした経験をお持ちの方も多いと思います。肉体的疲労より精神的な疲労が睡眠の質を悪化させるようです。何事にも健康のためにはストレスをためない事が大切のようです。

年金の話

久玉 副理事長

現役世代の年金負担抑制人口減少に伴う現役世代の年金負担を和らげるため、2018年度から年金受給減額策が始まりました。さらに2021年度から賃金スライド強化も始まります。何れも年金カット策ですが、別紙の3月21日の毎日新聞記事を参考にしてください。詳細は、6面です

高齢者と車社会

「高齢者向けのクルマ」

◆高齢ドライバーによる自動車事故が増えています。地方ではクルマ以外に移動手段が無い地域もたくさんあります。それらの地域では高齢になってもハンドルを握らなければどこへも行けないという問題があり、高齢者であってもクルマを運転せざるをえないという事情があります。◆高齢者の運転に心強い安全装備として、踏み違い防止装置、自動ブレーキ、衝突防止警報装置、車線逸脱防止警報装置、標識検知機能、先行車発進お知らせ警報を装備した車が販売されています。◆サポートカー(セーフティ・サポートカー)はそんな高齢者向けのクルマとしては、踏み違い防止装置や自動ブレーキ・車線逸脱警報装置などの安全装備が頼りになります。◆サポートカーにもいくつかの種類があり、特に高齢者向けの安全機能である「ペダル踏み間違い加速抑制装置」が装備されているクルマが「サポートカーSベーシック」となり、サポートカーSワイドグレードになりますと歩行者用自動ブレーキや先進ライトが装備されるようです。どれを選択できるかは、お財布との相談になりますね。